

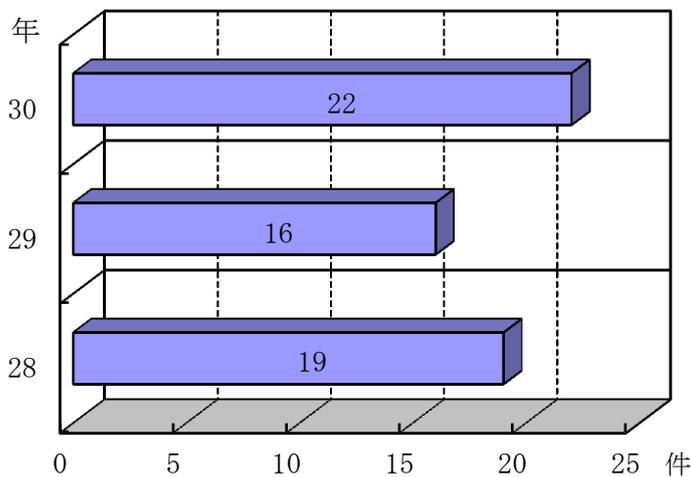
平成30年災害概況について

1 火災

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

過去3年間におけるかすみがうら市内の火災件数は下表の通りである。

過去3年間火災件数



(1) 出火件数

平成30年中の出火件数は22件で、前年に比較して6件の増である。

令和元年は本日までに11件の火災が発生している。

ア 火災種別

火災種別ごとの件数は、建物火災が最も多く14件と高い比率を占めている。次いでその他の火災（枯草、ゴミ、衣服等）が5件、林野火災2件、車両火災1件となっている。

イ 四季別

出火件数を四季別にみると第1四半期（1月～3月）4件、第2四半期（4月～6月）7件、第3四半期（7月～9月）3件、第4四半期（10月～12月）8件となっている。火災は火気使用頻度の多い冬から春先にかけて多く、高温、多湿の夏季は比較的火災が少ないのが例年の状況である。

ウ 出火原因

全国的には総出火件数は37,900件で、出火原因は「たばこ」(8.9%)「たき火」(8.1%)「こんろ」(7.5%)「放火」(7.2%)「放火の疑い」(5.2%)となっている。

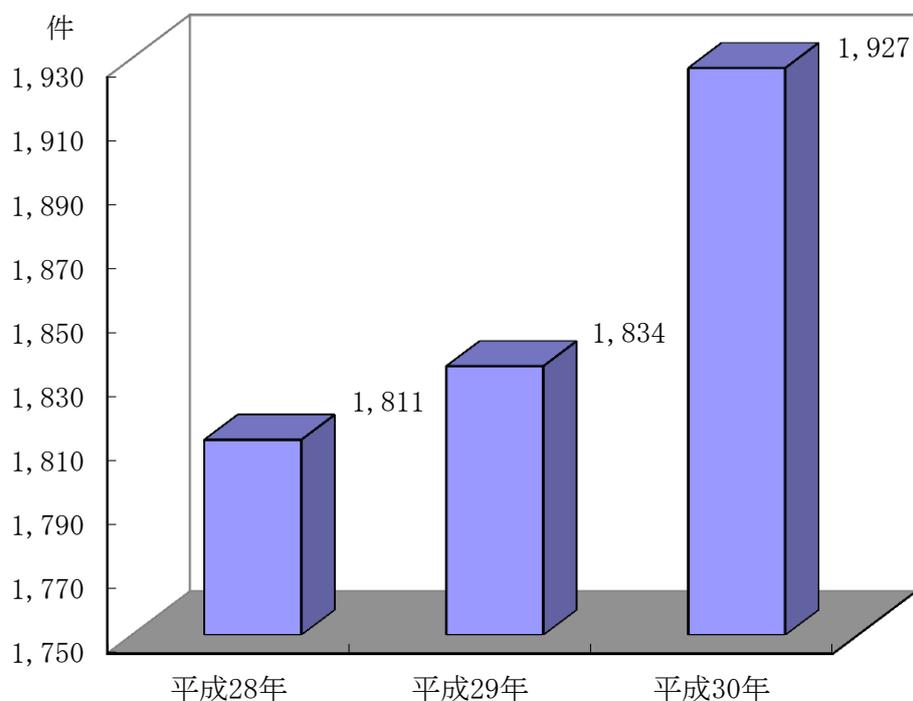
かすみがうら市では「不明」7件「ストーブ」3件「たばこ」2件「放火・放火の疑い」2件となっている。

2 救急

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の事務として法制化され、平成3年8月には、プレホスピタル・ケア充実のため、救急隊員の行う救急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行う救急救命士の制度が設けられた。

平成15年4月から、救急救命士が行う処置は順次、拡大され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

過去3年間におけるかすみがうら市内の救急出場件数は下表の通りである。

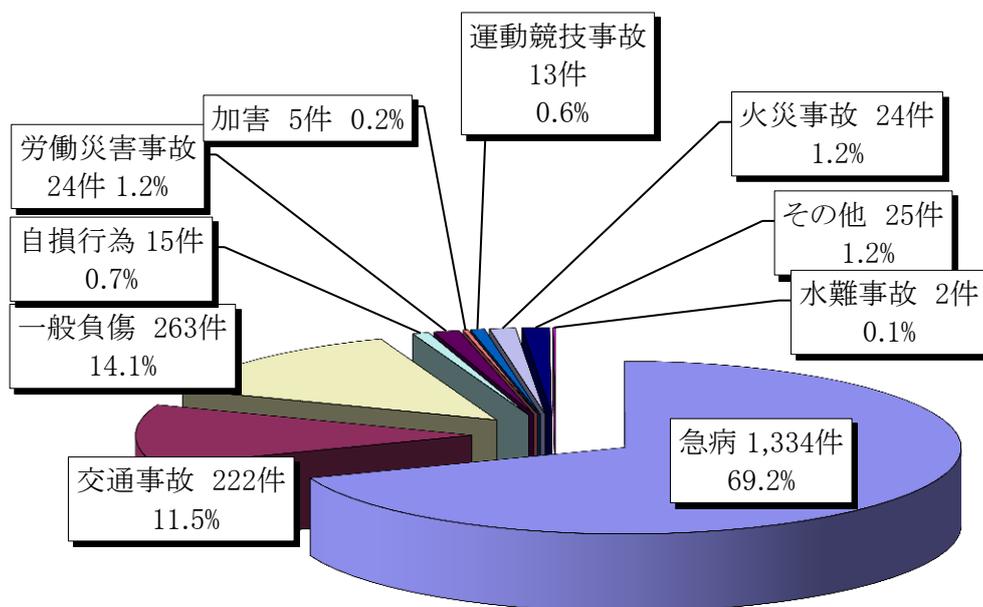


(1) 救急出場件数

平成30年における市内の救急業務実施状況は、救急出場件数1,927件、搬送人員1,826人であり、ともに過去最高となり、1日平均5.2件の割合で救急隊が出場し、市民の約23人に1人が搬送されたことになる。

増加の理由としては、高齢の傷病者の増加(前年比126人増)、熱中症傷病者の増加(前年比24人増)、緊急性が低いと思われる傷病者の増加などが考えられる。又、平成31年4月末日までの救急出場件数は616件である。

(2) 事故種別出場件数



事故種別出場件数を見ると、急病が約7割を占め次いで一般負傷、交通事故となっている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関別に搬送人員をみると、土浦協同病院が最も多く61%で次いで神立病院の14%となっている。

(4) ドクターカー・ドクターヘリ

救急現場において、以下の条項が認められているときに要請します。

- ・生命の危機が切迫しているか、その可能性があるとき
- ・重症患者であって搬送に長時間を要することが予想されるとき
- ・特殊救急患者（重傷熱傷、多発外傷、四肢切断等）で搬送時間の短縮を特に図るとき
- ・救急現場で緊急診断処置に医師を必要とするとき
- ・多数傷病者発生の場合

※ ドクターカー・ドクターヘリ出場件数

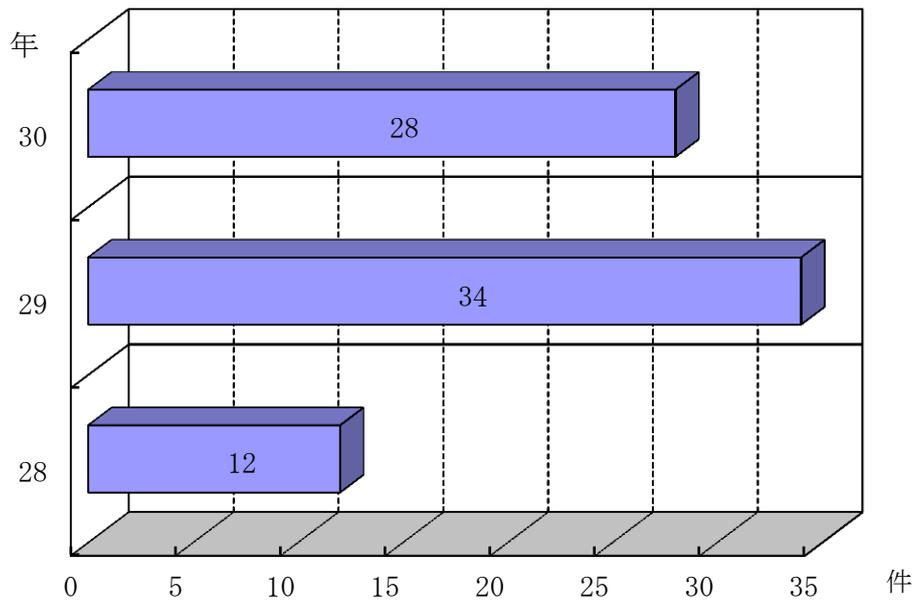
平成30年におけるかすみがうら市への出場件数は以下のとおりである。

- ・土浦協同病院ドクターカーかすみがうら市への出場
(平成30年41件、平成29年31件) 出場
 - ・ドクターヘリ
(平成30年12件、平成29年6件) 出場
- 総出場件数 (平成30年694件、平成29年728件)

3 救助

救助隊の装備は、救助事象の複雑化・多様化に伴い、より高度かつ専門的な機能・性能を有する物が必要とされるようになってきている。救助隊は、これらを専用の救助工作車に積載し、救助活動を実施している。

過去3年間救助件数



平成30年中における救助活動状況は、出動件数28件である。

災害事故種別でみると交通事故が16件、水難事故1件、建物等による事故3件、その他の事故8件となっている。

4 その他の出場 (PA 連携)

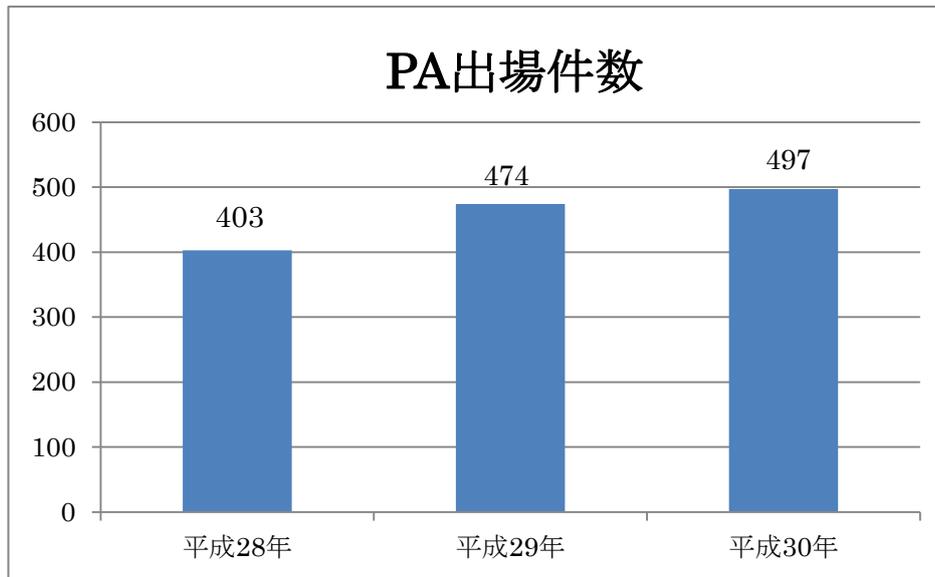
PA 連携とは、ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出場するものであり、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

早期にポンプ小隊等が救急現場に先着し、ポンプ小隊と救急小隊が連携して傷病者の救出、救護処置を迅速かつ確実にを行う行動をより充実させ、心肺機能が停止した傷病者に対して多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路などが狭いため傷病者の搬送が難しい場合など、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、要請の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えてポンプ車などの消防車を同時に出場させ、救急隊と消防隊とが連携した救急活動を行うものです。

同時出場する消防隊には、救急処置に必要な AED 等が積載されており、また、救急救命士が1名以上乗車することから、消防隊による救護処置はもちろんのこと、心肺停止状態の傷病者に対する救命処置も可能です。

こうした消防隊の救護能力を活かした連携活動により、今後は傷病者の救出・救護処置がこれまで以上に素早く、確実に行われることとなります。

さらに、この方式を導入することにより、例えば近くにある消防署の救急車が出場してしまった場合でも、隣接する消防署の救急車が到着するまでの間に、消防隊が先に到着して心肺蘇生処置等を行うことができるため、到着時間の短縮や救命率のアップなど、市民生活の安全と市民サービスの向上を図ることができます。



PA 連携で出場した件数は救急出場の増加に伴い497件で、前年に比べ23件増加しています。「救急車を呼んだのに消防車が来た」というように驚かれることもあるかも知れませんが、一人でも多くの人命を救うことを目的に実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

市民の皆様の安全・安心な生活を守るため、全職員一丸となって取り組むとともに、一層信頼されるかすみがうら市消防本部とするため全力を投入してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

医療機関別搬送人員

| 市町村別 | 事故種別 | 事故種別 | | | | | | | | | | | 合計 |
|------------------|--------------------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|--------|------------------|--------|-------------|-------|
| | | 火 災 事 故 | 自 然 災 害 事 故 | 水 難 事 故 | 交 通 事 故 | 労 働 災 害 事 故 | 運 動 競 技 事 故 | 一 般 負 傷 | 加 害 | 自 損 行 為 | 急 病 | そ の 他 | |
| 土 浦 市 | 土浦協同病院 | 5 | 0 | 0 | 112 | 15 | 9 | 145 | 2 | 10 | 812 | 5 | 1,115 |
| | 神立病院 | 0 | 0 | 0 | 57 | 2 | 2 | 60 | 1 | 0 | 136 | 1 | 259 |
| | 霞ヶ浦医療センター | 0 | 0 | 0 | 13 | 1 | 0 | 11 | 0 | 0 | 82 | 0 | 107 |
| | その他の病院 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 17 | 0 | 28 |
| 石 岡 市 | 山王台病院 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 32 | 0 | 52 |
| | 石岡第一病院 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | 0 | 10 |
| | 石岡医師会病院 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 5 | 0 | 14 |
| | その他の病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| つ く ば 市 | 筑波メディカルセンター病院 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 25 | 0 | 34 |
| | 筑波大学附属病院 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 12 | 0 | 16 |
| | 筑波記念病院 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 11 | 0 | 15 |
| | その他の病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 5 |
| 阿 見 町 | 東京医大茨城医療センター | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 7 | 0 | 0 | 53 | 0 | 67 |
| | その他の病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 笠 間 市 | 茨城県立中央病院 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 7 |
| 行 方 市 | 土浦協同病院なめがた地域医療センター | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 7 | 0 | 13 |
| 小 美 玉 市 | 石岡循環器科脳神経外科病院 | 0 | 0 | 0 | 14 | 1 | 0 | 10 | 1 | 0 | 38 | 0 | 64 |
| 水 戸 市 | 水戸医療センター | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 9 |
| | 水戸済生会病院 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 |
| 合 計 | | 5 | 0 | 0 | 252 | 22 | 13 | 258 | 5 | 12 | 1,253 | 6 | 1,826 |

(人)

